



鎌倉市議会議員

第2号 2013年10月

# 竹田ゆかり市政通信

「通信」という言葉には交流・ふれあいの意味があります

〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎 5-31-11 連絡先 090-3535-4474

E-mail [yukari.ain@gmail.com](mailto:yukari.ain@gmail.com)

9月議会一般質問で、竹田ゆかりは次のような質問をしました。(概略抜粋)  
なお、次の順に検索していただくと、一般質問の様子をご覧ください。

(鎌倉市議会－インターネット中継－議員名から選ぶ－竹田ゆかり－9月定例会－再生)

## 市は何のために発掘調査をしてきたのか！

① 4月、イコモスからの不記載勧告を受け、市は世界遺産登録 再推薦を目指すということで、今後の進め方を検討することになった。この間学校現場にあっては「世界遺産登録を目指す鎌倉…」は子ども達にとって郷土鎌倉を学ぶ大きな動機付けになってきた。総合学習や夏休みの取り組みの中で、調べたり聞き取りをしたり、様々な学びをしてきたが、発掘された物から学ぶことができなかった。また毎年、6年生の歴史の学習では実物を見せたい一心で、学校は子ども達を横浜歴史博物館までつれて行くが、目にするものは横浜市の出土物であり、横浜市の歴史である。

市は1971年から今日まで、何のために発掘調査をしてきたのか。野村総合研究所跡地にはおびただしい(24,500箱)ほどの発掘されたものが、未整理のままになっている。なぜ今まで、子ども達や市民の学びに生かされてこなかったのか。

② 次期基本計画の中に示されている、「歴史遺産と共生する町づくり」を推進するにあたって「…市内の小中学校をはじめとする教育機関等との連携による学ぶ機会の充実」と書かれているが具体的な取り組みとして、どのようなことを考えているのか。

③ 中世の歴史「武家の古都鎌倉」という視点だけで、鎌倉の歴史的遺産を見てきたのではないか。「世界遺産登録」ということにスポットライトを当てている間に、子ども達や市民の学びが置き去りにされてきたのではないか。

④ 世界遺産登録のいかんに関わらず、今鎌倉に必要なものは、鎌倉市の子ども達や市民の方々が、発掘されたものを通して、郷土鎌倉の歴史について学ぶことのできる施設、歴史博物館であると思うが、今後どのような計画があるのか。



未整理のままの24,500箱

## 30℃をこえる教室環境に、耐えつづける鎌倉の子ども達。

### 学べる環境ではない！



- ① 鎌倉市庁舎は今年 6 月 5 日より冷房を入れ始め、例年 10 月初めまで入れるとのこと。稼働基準については、5 月 20 日付で厚労省の健康局長より「2013 年度夏季の電力需要対策に関わる特定建築物の維持管理について」という技術的助言通知があり、「…室内温度 28 度を上限とするよう努めること。ただし電力抑制のため室温を若干上げることも考えられるが、熱中症の発生の危険性や心身への負荷が高まらないように十分工夫をすること…」と書かれている。学校は夏休みを除いても、3 か月間、冷房を入れるべき環境にあり、熱中症の危険性、心身への負荷が高まる環境にあるということである。

また、「学校環境衛生基準法」にも、最も学習に望ましい条件は、夏季で 25 度から 28 度と書かれている。

近年の記録的な猛暑が続く中、子ども達にかかる心身の負荷は大きく、どれだけ学習効率を落としているか分からない。近隣の自治体では次々に普通教室に空調設備が設置されていく中、鎌倉市は財政状況を理由に、設置の見通しさえ立たない。喫緊に解決しなければならない課題と考える。冷房施設設置について検討していただきたい。

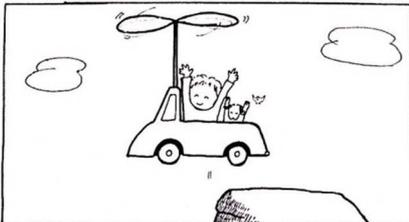
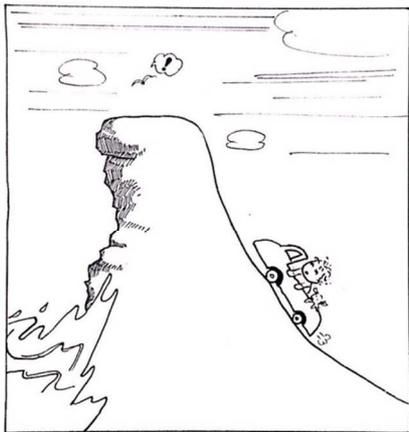
- ② 川崎市では、市長の後押しがあって、全校全クラスに空調設備が設置できたと聞いている。2014 年度の実施計画に重点事業として載せていく方向で検討していただきたいが、市長の考えを問う。

## やっとミシンが買えました。これでよいのか教育予算！

- ① 市は財政状況を理由に、毎年の予算編成において例外なくマイナスシーリングをかけ続けてきた。学校配当予算(トイレトペーパーから、ピーカー、石灰、顕微鏡に至るまで、教育活動・学校生活に関わる様々なものを購入する費用)は、過去 5 年間だけでも累積 20 パーセントの削減がなされてきた。しかし 2013 年度は理事者査定により、加算がなされた。問題は、この加算額で、学校が何を買うことができたかである。●台数が少なくて、待っているだけで授業が終わってしまうほど足りていなかったミシンが買えた。●ささくれている運ぶのにも危険を伴うハードルが買えた。●成長著しい高学年の子どもが、足を伸ばして寝ることのできるベッドが買えた。恒常的に配当予算が足りていない状況で、安心安全な学校、豊かな学びが保障されていると言えるのか。
- ② 市長はマニフェストで「鎌倉の将来の担い手・子どもへの投資に重点的に配分する」と言っているが、マニフェストは守られていると言えるのか。



## 竹っちょ…あぶない！ No.1



# 何よりも子ども達一人一人に 目が行き届くこと！

- ① 6月21日「いじめ防止対策推進法」が可決成立。8条に「学校全体でいじめの防止、早期発見、適切かつ迅速な対応を…」と書かれている。これは学校として、当然取り組むべきことである。防止・発見・対応の前にもっと大切なことがある。教育長はどのようなことが大切であると思うか。
- ② 学校からいじめをなくしていくためには、先ずもって「いじめを生みにくい学校・学級を作ることである」と考える。そのためには、子ども達一人ひとりに目が行き届くこと、子どもの心に丁寧に寄り添える学校・学級づくりが大切であると思うが教育長はどう考えるか。
- ③ 政権が替わり、35人以下学級の取り組みが2年生でストップしている。全国では国の基準を下回る学級編成を先行して行っている県が40。中学3年生まで35人以下学級を行っている県が9県。（神奈川は入っていない）  
鎌倉市は、2009年12月、陳情21号（…3年生から、6年生まで1クラス35人を超える学年にフリーの教員配置を…）が多数をもって採択されている。その後どのように検討されたのか。
- ④ 教育長は陳情内容を踏まえて、次の実施計画に向けて、どのような考えを持たれているのか。

## 一般質問における市側の答弁（概略）

### ○市は何のために発掘調査をしてきたのか！（扇ガ谷1丁目用地活用）について

（文化財課）常設的に出土物を見たり触れたりする施設がなかった。出前教室・体験教室などの機会がなかった。今後は積極的に小中学校に情報発信していきたい。出土品を学校に貸し出したい。また、仮称鎌倉歴史文化交流センターの整備をし、展示・学習体験（修復・発掘調査）・交流の場としたい。歴史博物館は2014年度から、整備構想の策定に着手したい。

### ○30度を超える教室環境…学べる環境ではない！（空調設備）について

（教育部長・市長）熱中症対策、学習面を考慮して、空調設備設置を実施計画に登載していただけるよう要求していきたい。財政状況や優先度を考慮し、総合的な観点で検討していきたい。

### ○これで良いのか教育予算！（学校配当予算）について

（教育部長・市長）学校の現状を見る中で、教育環境を充実させていくことの必要性を感じている。安心安全な学校生活を送れるよう、また学習内容に影響が出ないよう、予算面からも学校を支援

していきたい。2014 年度の予算編成の作業の中で対応を考えていきたい。

## ○子ども達一人一人に目が行き届くこと！（35 人以下学級）について

（教育長）一人一人の子どもに対し、個に応じたきめ細かな教育は大切である。少人数学級、少人数指導は有効な手段と考える。実施計画委員会の中で位置づけられるよう検討していきたい。

### 9 月議会 議案・陳情・意見書についての竹田ゆかりの動向（総員挙手のもの省略）

- \*家庭系ごみの戸別収集・有料化全市実施の計画を見合わせることを求める決議（多数挙手・竹田挙手）
- \*神奈川県に「公契約条例」の制定を働きかける意見書の提出を求める陳情（総務常任委員会に付託され、竹田は採択を求めたが、継続審議との意見が多く、本会議に挙げることができなかった）
- \*市長に対して大谷副市長の解職を求める陳情（少数否決・竹田は退席。理由…解職を求める理由は不適切なタクシー利用であるが、これは内部の管理体制の問題として結論を出すべきであるとする）
- \*2012 年度一般会計歳入歳出決算の認定（少数挙手・竹田挙手せず）

### 市民からの抗議・要望が届く・・・

9 月定例会は予定より一週間伸びて、10 月 3 日に終了した。この間、議会事務局に寄せられる電話による抗議、FAX による要望等々が数多く寄せられた。内容はおおむね以下のとおりでした。

- 正常な議会運営を要望する。……鎌倉市民の生活に関わる問題等についての質疑にある程度の時間を費やすのは理解できるが、市長陣営の選挙活動の法令解釈などにいたずらに時間を費やすことは市民無視も甚だしい。議会に要するコストは市民の税金です。
- 議員としての一般質問における態度に問題がある。等

### 2012 年度決算特別委員会・委員長報告から消えた「小・中学校空調設備設置要望」！

2012 年度決算特別委員会は 4 日間にわたり、さまざまな質疑がなされた。最終日には来年度予算執行に向けての意見が各会派から述べられた。その内容は以下の通りであった。

- ① ごみ処理のあり方について
- ② 伝統鎌倉彫振興事業について
- ③ 総合体育施設の設置について
- ④ 小中学校教室の空調設備の設置推進について

ところが、10 月 3 日の本会議では、④の内容が削除されている。本会議報告に挙げる意見は、全会派が認めないと挙げるができない。反対したのは一会派とのこと。その会派の反対理由は、「電源の問題が解決していない。東電に依存するのではなく、太陽光発電ならばよい」とのこと。電源が東電であるということで反対？連日 30 度を超える猛暑の教室で学ぶ子ども達の心身の負荷を考えた時に、空調設備設置は喫緊の課題である。皆さまはどう思われますか？

補正予算 7204000 円で緊急雇用はされたけれど…6 月の補正予算の審議の際に、私が討論で述べた「緊急雇用創出事業補助金」は、自治体運営型通信販売サイト構築運営業務を F & B ホールディング企業連合会社に委託し、支払われることになった。しかし、現在この企業連合の構成員に武雄市がなっており、武雄市は市民に訴えを起こされている。そのため、総務常任委員会協議会が 18 日緊急に開催された。（続きはブログで）

### 津波時の避難、材木座地区の課題は。10 月 17 日

材木座芝原地区からの非難に心配を感じていらっしゃる方からご相談を受け、タブの木公園裏から避難路を上ってみました。かなり急な道ですが、市が設置した手すりにつかまりながら、ゆっくり登っていくとやや開けた平らな場所につきます。しかしながら、それほど多くの方々は収容できません。連合自治会長さんのお話では、「今後避難場所が少しでも分散できるよう、のぼり口も増やしていきたい」とのお話でした。

